

「今後の展望について」



竹田市長 首藤 勝次
(国民保養温泉地協議会 会長)

「温泉と海洋センターの連携による健康づくり・保養客の獲得に挑戦！」

竹田市では地域資源の国民保養温泉地を活かした個性的な地域づくりを推進してきました。B&G財団に支援いただいたことで「温泉とスポーツによる健康づくり」という新しい取り組みに挑戦することができました。その成果として、地域住民の健康増進はもちろんのこと、ヘルスツーリズムによる新しい観光振興につながりました。これからも、温泉とスポーツを連携させた健康づくりを推進し、ビジョンとして掲げてきた『世界に通用する個性的な温泉地づくり』を進めてまいります。

「更なる発展に期待」 国立大学法人大分大学教育学部 谷口 勇一 氏

海洋センターリニューアル後の利用者においては、「運動意識の定着や健康意識の向上」、「新しい人間関係の構築」などの事業の成果が見られました。今後、本事業を竹田市独自で継続実施し、更なる「好影響」の創出を期待しています。

なお、当該事業においては、「観光振興」ヘルスツーリズムを意図した旅行商品の企画・販売を本格的に開始する予定であったものの、「コロナ禍」という社会事情の出現も相まって「今後の課題」とせざるを得なくなりました。しかし「ツーリズム」に対する潜在的欲求の高さに鑑みれば、今後、竹田市においても更なる発展が大いに期待出来ます。

大分県 竹田市

面積:477.7km² 人口:21,003人
高齢化率:47.2% (2020年9月末現在)



2018年から2020年度にかけて、温泉施設と海洋センターを一体的に利用することで、市民の健康寿命の延伸とヘルスツーリズムによる観光振興を図ることを目的とした「地域資源を活用したモデル事業」を実施。

背景

- 【健康部門】 ●運動もできる地域交流のできる施設がない。
●市内にトレーニングジムがなく、設置を望む声が多い。
- 【観光部門】 ●スポーツツーリズムや温泉ツーリズムの実施のため、トレーニング施設が必要。

2017年7月 竹田市直入B&G海洋センターが 温泉利用型健康増進施設(連携型)の運動施設として認可

一定の条件を満たした場合、施設までの往復交通費・施設利用料200万円までが、医療費控除の対象となります。

海洋センターの
改修へ!!

- コミュニティ機能を付加し市民が集える場となり、健康増進を目指す。
- トレーニングルームを設置し、温泉施設と連携することで新たなターゲット層の獲得と観光振興を図る。

column

中高年の雇用も創出しました!!

竹田市では独自の資格である「総合インストラクター」を養成してきました。地域資源(温泉・自然・食・環境等)を活かした健康づくりを支援するため、特に国民保養温泉地に指定されている竹田温泉群で行う温泉入浴や湯中運動を支援します。これまでに約50名を養成し、健幸運動教室、ヘルスツーリズム、「温泉ながゆ旅」のガイドなど、活動の幅を広げて市民の健康づくりの支援を行っています。



竹田市総合インストラクターの皆さん

B&G 流

Taketa City

地域資源「温泉」を 活用した新しい地方創生を!

～政策間連携、官民協働により生まれたプログラム～



温泉 運動
Onsen Training



健康増進

観光振興

医療費減少と住民の
健康意識向上などの成果が!

大分県
竹田市



公益財団法人 ブルーシー・アンド・グリーンランド財団

〒105-8480 東京都港区虎ノ門3-4-10 虎ノ門35森ビル9F
TEL:03-6402-5310 FAX:03-6402-5315 <https://www.bgf.or.jp/>

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

発行:2021年1月

地域住民

健康増進

超高齢社会に対応するため、地域住民の健康寿命の延伸と予防・健康づくりを目的に、温泉と海洋センターが連携した新たな健康増進プログラムをスタート!!

温泉と連携した運動プログラムの実施



湯中運動教室

その他健康教室の選択の幅も広がる



トレーニング指導

海洋センターが気軽に運動できる場に変化した



自分のからだ分析会



ロビーを活用した運動教室

効果あり

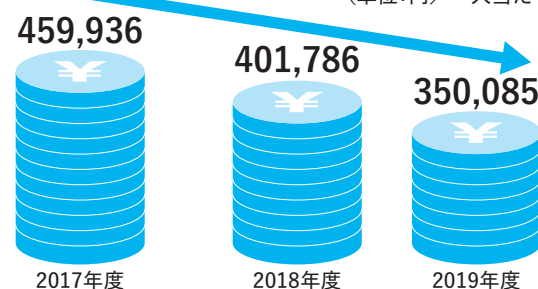
運動習慣の定着により、利用者の健康意識向上!

直入地域健康づくり組織加入者一人当たりの医療費が減少!!

2017年度から2019年度にかけて、医療費が約10万円減少しました。
(事業実施前の2017年度と2019年度比)

直入地域 組織加入者の医療費の推移

(単位:円/一人当たり)



その他の効果として… 体育館の利用者数が12,965名から19,734名へ増加

(2017年と2019年比)

52%増加

生涯学習課 商工観光課 保険健康課 直入支所

部局を越えた連携で、新たなプロジェクトを実施

竹田市では、部局の違う4課が連携して、「温泉とスポーツによる健康づくり」に取り組んできました。頻りに合同会議を開催し、情報や課題の共有、各科の得意分野を上手に活用することで、新たな事業創出につながりました。これからは4課の連携を密にして、市民の健康増進と交流人口の増加に繋げていきます。



担当者の皆さん

生涯学習課

商工観光課

保険健康課

直入支所

観光振興

交流人口

交流人口増加を目的に、温泉と海洋センターを活用した新たなヘルスツーリズムをスタート!!

湯中運動(温泉)+
軽スポーツ(B&G)
「体とところ」のリフレッシュ
プログラム商品を開発



3泊以上の竹田市への滞在で、
宿泊費や立ち寄り入浴料、
B&Gトレーニングルーム
利用料(予定)の一部を
助成する「温泉療養保健制度」
の運用。中長期滞在を促進!!

観光客数290万人突破!!
(2019年)



コロナ禍にも対応!

“働き方改革”・“健康経営”企業との
連携によるワーケーション※の受入れ ※「ワーク」と
「バケーション」を
組み合わせた造語

日本航空社員を
対象とした
企画を開始!!



2018~2020

B&G

B&G財団の支援

体育館のトレーニングルーム増築やロビーの改修、
車いすの方が利用できる多目的トイレの整備、運動器具・
測定機器の設置等に対しB&G財団が3,000万円を助成。



地域住民が気軽に
運動・交流できる場を提供
健康づくり教室や
観光商品の新たな
企画・運営の実現